国土交通省
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

Press Release

令和７年９月２５日
港湾局産業港湾課

ＣＮＰ認証（コンテナターミナル）の初認証
～コンテナターミナルにおける脱炭素化の取組レベルを評価～

国土交通省港湾局では、コンテナターミナルにおける脱炭素化の取組を客観的に評価する認証制度「ＣＮＰ認証（コンテナターミナル）」に基づき、申請のあった５つのターミナルに対して、本制度の創設後初となる認証を行いました。

ＣＮＰ認証（コンテナターミナル）の更なる普及により、カーボンニュートラルの観点で荷主や船社等によるターミナルの選択が可能となることから、ポートセールスでの活用とともに、ＣＮＰ形成に向けたターミナル間での競争を期待しています。

１．「ＣＮＰ認証（コンテナターミナル）」とは

・国土交通省では、脱炭素化に配慮した港湾機能の高度化や水素・アンモニア等の受入環境の整備等を図るカーボンニュートラルポート（ＣＮＰ）の形成を推進しています。
・ＣＮＰの形成を推進する取組の一つとして、令和７年６月、コンテナターミナルにおける脱炭素化に向けた取組の実施状況をレベル１～５までの多段階で評価する認証制度「ＣＮＰ認証（コンテナターミナル）」の運用を開始しました。

２．初認証ターミナルの概要

令和７年６月３０日（月）～令和７年７月４日（金）の期間に申請を受け付けた以下５ターミナルを認証しました。

・博多港アイランドシティコンテナターミナル	レベル５＋
・川崎港コンテナターミナル	レベル４＋
・名古屋港鍋田ふ頭コンテナターミナル	レベル３＋＋
・大阪港南港コンテナターミナル C-1/4	レベル２＋
・高松港コンテナターミナル	レベル１

※認証レベルの上位順に記載

※詳細は別紙参照
※後日、所轄の地方整備局において認証書交付式を行いますので、別途お知らせします。
※認証ターミナルの情報についてはＣＮＰ認証ポータルサイト（下記ＱＲコード）にて公表しております。

【問い合わせ先】　港湾局　産業港湾課　ＣＮＰ推進室　末宗、富田
代表：03-5253-8111（内線:46-468）、03-5253-8672（直通）
メールアドレス：hqt-cnp-certificate@gxb.mlit.go.jp

CNP認証（コンテナターミナル）初回認証ターミナルの取得要件及び取組状況

国土交通省

別紙

港・ターミナル名	認証レベル	各レベル取得要件		ターミナルの取組状況	推奨項目(+)の詳細
博多港 アイランドシティコンテナターミナル	レベル５＋	・港湾脱炭素化推進計画の作成		○	・ＬＮＧバンカリングへの対応
		・インバータ制御方式のガントリークレーンの導入	(導入率100%)	導入率100%	
		・低・脱炭素型トランスファークレーン・ストラドルキャリアの導入	(導入率100%)	導入率100%	
		・ＬＥＤ照明の導入	(導入率100%)	導入率100%	
		・環境に配慮した船舶への入港インセンティブの導入		○	
		・ゲート前の渋滞、ヤード内の滞留対策の実施		○	
川崎港 コンテナターミナル	レベル４＋	・港湾脱炭素化推進計画の作成		○	・低・脱炭素化された電力の導入
		・インバータ制御方式のガントリークレーンの導入	(導入率80%以上)	導入率100%	
		・低・脱炭素型トランスファークレーン・ストラドルキャリアの導入	(導入率80%以上)	導入率89%	
		・ＬＥＤ照明の導入	(導入率80%以上)	導入率47%(*1)	
		・環境に配慮した船舶への入港インセンティブの導入		○	
		・ゲート前の渋滞、ヤード内の滞留対策の実施		○	
名古屋港 鍋田ふ頭コンテナターミナル	レベル３＋＋	・港湾脱炭素化推進計画の作成		○	・電動トップリフターの導入 ・ＬＮＧバンカリングへの対応
		・インバータ制御方式のガントリークレーンの導入	(導入率50%以上)	導入率63%	
		・低・脱炭素型トランスファークレーン・ストラドルキャリアの導入	(導入率50%以上)	導入率75%	
		・ＬＥＤ照明の導入	(導入率50%以上)	導入率100%	
大阪港 南港コンテナターミナルＣ-1/4	レベル２＋	・港湾脱炭素化推進計画の作成		○	・カーボンオフセットの取組実施
		・インバータ制御方式のガントリークレーンの導入	(導入率10%以上)	導入率88%	
		・低・脱炭素型トランスファークレーン・ストラドルキャリアの導入	(導入率10%以上)	導入率74%	
		・ＬＥＤ照明の導入	(導入率10%以上)	導入率48%	
高松港 コンテナターミナル	レベル１	・港湾脱炭素化推進計画の作成		○	-

（*１）ターミナルに再生可能エネルギー100%の脱炭素電力が導入されているため、要求事項を満たすものとして評価。